



## “コロナ感染が拡がる今、 避難情報が出たら正しく避難しましょう”

昨年、あきる野市では台風第19号により浸水、土砂災害等の甚大な被害が発生しました。

近年、全国各地で大雨による被害が発生しており、今まで以上に事前の備えが重要です。

避難所が「密」になることを防ぐため、避難所以外の避難先も検討し、いざという時に落ち着いて行動できるように備えておきましょう。

“自分の命は自分で守る” 日頃の備えと適切な行動で身を守りましょう。

① 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

【警戒レベル】で避難のタイミングをお知らせします。



② 警戒レベル5は既に災害が発生している状況です。

### 《 風水害時の注意事項 》

市から警戒レベル3や4の避難情報が発令されたら、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、速やかに避難行動をお願いします。

避難所では、感染症対策として体温チェック、避難所の換気、スペースの確保など衛生環境の確保が行われますが、避難所が「密」になることを防ぐため、次のことに留意してください。

また、裏面の避難行動判定フローを参考に、避難についてご検討ください。

- ① あらかじめハザードマップにより、ご自宅の危険度を確認してください。
- ② 土砂災害警戒区域や浸水想定区域に居住していない方は、必ずしも避難する必要はありません。
- ③ 屋外に避難することが危険な場合には、斜面から離れた反対側の部屋や屋内の高いところなど、安全確保がとれる場所に避難してください。
- ④ 親戚や友人の家など、安全な場所への避難もご検討ください。  
また、車中避難をする場合は、倒木や浸水がないよう周囲を確認してください。
- ⑤ 避難する際には、感染症予防対策としてマスクを着用し、可能であればアルコール消毒液、体温計、スリッパ、避難生活に必要な水や食料、着替え、日用品などをお持ちください。

# 避難行動判定フロー

## あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

避難の必要はありません。ただし、色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけ、川のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

いいえ

災害の危険があるので、自宅の外に避難が必要です。

- ・ 浸水の危険があっても、次の場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
  - ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれのある区域の外側である。
  - ②浸水する深さよりも高い場所にある。
- ・ 土砂災害の危険があっても、マンションなどの上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

**避難準備・高齢者等避難開始  
(警戒レベル3) が出たら…**

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）。

開設している指定緊急避難場所等に避難しましょう。

**避難勧告、避難指示（緊急）  
(警戒レベル4) が出たら**

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）。

開設している指定緊急避難場所等に避難しましょう。

※安全な避難ができるうちに、移動することも考えておきましょう。

※「ハザードマップの見方」や「避難情報の5段階レベル」については、防災Now 1号、2号に掲載しております。市ホームページをご覧ください。

【ハザードマップや避難情報についての問い合わせ】

あきる野市役所地域防災課防災係

電話番号：042-558-1111（内線2343・2344）